

第1回 えびの市公共工事入札・ 契約監視委員会 会議録概要

令和4年1月25日(水) 午後2時 開会
JAアズム本館 1階小研修室

調査及び審議事項

① 公共工事の入札及び契約手続きの運用状況に関すること

市 : 令和3年4月1日から令和3年9月30日までに於ける、予定価格が130万円を超える工事の入札・契約状況は次の通りです。

- ・ 一般競争入札 該当なし
- ・ 指名競争入札 件数 61件 契約金額 716,365,573円
- ・ 随意契約 該当なし

調査及び審議事項

② 公共工事のうち談合情報が寄せられたものについて、市の対応状況に関すること

市 : 談合情報が寄せられた工事はありませんでした。

調査及び審議事項

③ 抽出された公共工事に係る入札参加資格の設定、入札参加者の指名、随意契約の理由等に関すること

委員 : 入札状況を調査のうえ、気になった入札を抽出した。

事案1 令和3年度 市道新亀沢3号線外2線 道路災害復旧工事

委員 : 辞退者多く、1者での応札、落札となっている。辞退者が多くなる理由は無かったのか。

- ・ 工事概要 市道新亀沢3号線 復旧延長 L=10.0m、
かご枠工 L=30.0m
市道亀沢柳水流線 復旧延長 L=8.0m、
側溝布設工 L=8.0m
市道亀沢線 側溝布設工 L=30.0m
- ・ 工事ランク 災害復旧4組
- ・ 指名業者数 6者 工事の内容に応じた指名
- ・ 入札辞退者 5者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格(消費税込) 2,293,500円
- ・ 落札額(消費税込) 2,288,000円
- ・ 落札率 99.76%

市 : 本工事は、市道の路肩や側溝の修繕を実施する災害復旧工事になります。

工事名称に外 2 線と記載されているとおり、計 3 路線の復旧工事となります。それぞれ小規模な災害のため 1 路線ずつ発注を行うと、不落の大きな要因となるため、3 路線をまとめて発注しています。

今回、辞退者が多くなった理由として、3 路線をまとめて発注したことが要因の一つと推察されるが分割発注を行うより辞退者が少なかったと推察しています。

委員 : まとめて発注すると不落を防げるのならもっと活用しても良いと思うが、基準があれば教えて下さい。

市 : 遠方になると重機の輸送費等で業者に負担を掛ける状況が発生するため、1 キロ圏内又は同じ地区内等の近隣の路線をまとめ、現場代理人が少なくても済むような対策を取っているところです。

事案 2 令和 3 年度 えびの市庁舎 3 階屋上防水改修工事（1 工区）

委員 : 最低制限価格未満の業者が多かった。予定価格積算、最低制限価格の積算等が甘かったのではないか。

- ・ 工事概要 庁舎 3 階屋上の防水改修工事に伴う改修工事費一式
- ・ 工事ランク 防水
- ・ 指名業者数 8 者 工事の内容に応じた指名
- ・ 入札辞退者 なし
- ・ 最低制限価格未満の入札 6 者
- ・ 予定価格（消費税込） 7,965,100 円
- ・ 落札額（消費税込） 6,776,000 円
- ・ 落札率 93.58%

市 : 予定価格積算について、建築工事は、一般に建築価格情報誌又は見積書等で積算します。新築工事では、価格情報誌等の単価を採用出来るが、改修工事では、防水シートの撤去、既存下地等の撤去、1 工区・2 工区の継ぎ部防水処理など価格情報誌等に単価がなく、見積を徴収し、見積の平均単価を基に単価を決定しています。

最低制限価格の積算については、えびの市建設工事の最低制限価格等に係る事務処理要綱より、制限価格を決定しています。以上のことにより、予定価格積算、制限価格の積算については、問題なかったと考えます。

今回、最低制限価格未満の業者が多かったため、経緯について数社の業者に聞き取りを行ったところ、今回の発注時期の 9、10 月は、比較的仕事の発注が少なく、会社としても従業員の雇用の観点から積極的な応札を行った。また、施工面積が 540 m²と広い材料費を押さえることができ、より積極的な応札ができたとのことでした。

委員 : 発注時期により積極的な応札を行ったとのことだったが、入札において発注時期は大きいのか。

市 : 防水改修工事に関しては、梅雨の時期等の雨の多い時期を避ける必要があります。既存の防水シートをはぎ、下地のコンクリートが剥き出しの状態に

なるため、雨漏り等の被害の影響がないようにこの時期に発注としたところ
です。

委員：見積りの平均をとったの事でしたが、見積りの積算は確認した方が良いの
ではないですか。

市：委員が言われた通り今後は見積りを取った時点で精査を行い、その価格が正
当なのか確認をしたいと思います。

- 事案3
- (1) 令和3年度 過疎対策事業 市道後川内苧畑線道路改良工事
 - (2) 令和3年度 過疎対策事業 市道大迫霧島線道路改良工事
 - (3) 令和3年度 過疎対策事業 市道東長江浦線道路改良工事
 - (4) 令和3年度 過疎対策事業 市道栗下上江線道路改良工事
 - (5) 令和3年度 道路メンテナンス事業 下真幸橋 橋梁修繕工事
 - (6) 令和3年度 社会資本整備総合交付金 永山運動公園整備工事 (1工区)
 - (7) 令和3年度 社会資本整備総合交付金 永山運動公園整備工事 (2工区)

委員：土木Aランクの工事は毎回同じ5者が指名競争入札をされ、5者に対して
満遍なく落札されている。会社規模、工期、技術的な側面など、満遍なく落
札されたのは偶然なのか、総合的に発注課の分析を聞きたい。

- (1) 令和3年度 過疎対策事業 市道後川内苧畑線道路改良工事
 - ・ 工事概要 延長 L=120.0m、幅員 W=5.0m、
L型擁壁設置 L=68.0m、騒音防止側溝 L=121.0m
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格(消費税込) 20,346,700円
 - ・ 落札額(消費税込) 19,800,000円
 - ・ 落札率 97.31%
- (2) 令和3年度 過疎対策事業 市道大迫霧島線道路改良工事
 - ・ 工事概要 延長 L=300.0m、幅員 W=5.5m、掘削工 V=982 m³
舗装工 A=1,079 m²
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格(消費税込) 40,588,900円
 - ・ 落札額(消費税込) 39,600,000円
 - ・ 落札率 97.56%
- (3) 令和3年度 過疎対策事業 市道東長江浦線道路改良工事
 - ・ 工事概要 施工延長 L=145.6m、計画幅員 W=6.0m、
舗装工 A=900 m²、擁壁工 N=1式、
石・ブロック積工 N=1式

- ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 33,029,700円
 - ・ 落札額（消費税込） 32,428,000円
 - ・ 落札率 98.18%
- (4) 令和3年度 過疎対策事業 市道栗下上江線道路改良工事
- ・ 工事概要 施工延長 L=145.6m、計画幅員 W=6.0m、
舗装工 A=900㎡、擁壁工 N=1式、
石・ブロック積工 N=1式
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 29,440,400円
 - ・ 落札額（消費税込） 29,040,000円
 - ・ 落札率 98.64%
- (5) 令和3年度 道路メンテナンス事業 下真幸橋 橋梁修繕工事
- ・ 工事概要 下真幸橋 L=144.1m、W=6.5(7.2)m、
橋面防水工 A=918㎡、伸縮装置修繕工 L=45.5m
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 58,460,600円
 - ・ 落札額（消費税込） 58,080,000円
 - ・ 落札率 99.35%
- (6) 令和3年度 社会資本整備総合交付金 永山運動公園整備工事（1工区）
- ・ 工事概要 盛土 V=8,690㎡³、擁壁工 N=1式、水路工 N=1式、
給水設備工 N=1式
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし
 - ・ 最低制限価格未満の入札 なし
 - ・ 予定価格（消費税込） 101,443,100円
 - ・ 落札額（消費税込） 100,650,000円
 - ・ 落札率 99.25%
- (7) 令和3年度 社会資本整備総合交付金 永山運動公園整備工事（2工区）
- ・ 工事概要 盛土 V=8,495㎡³、上層路盤工 A=12,520㎡²、
擁壁工 N=1式、水路工 N=1式
 - ・ 工事ランク 土木A
 - ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
 - ・ 入札辞退者 なし

- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 102,467,200 円
- ・ 落札額（消費税込） 101,420,000 円
- ・ 落札率 98.98%

市 : えびの市の土木工事における格付けは、発注金額に応じ、Aランク 5 者、Bランク 8 者、Cランク 17 者を入札参加資格者として名簿に登載しています。Aランクについては 5 者のみであり、発注金額 2,000 万円を超える案件については、基本Aランク 5 者の指名です。

Aランクの工事件数については、本市では例年 10 件程度計画されており、四半期ごとの工事発注見通しも公表していることから、国、県発注工事も含め、それぞれの業者において年間の事業計画を立てられているものと推察されます。

また、工期を確保するため、規模の大きい工事については、第 2 四半期の早い時期までに発注を計画しており、Aランクの工事が集中しますが、可能な限り発注時期を平準化するための対策を検討しています。

会社の規模や技術的な面につきましては、現在までの業績から、どの業者が落札しても問題はないと考えています。

満遍なく落札されていることについては、聞き取り等を行っていませんが、それぞれ現場条件等を勘案し応札された結果、今回のような状況になったものと推察しています。

(6) (7) の永山運動公園整備工事 (1 工区) 及び (2 工区) の発注時期については、国土交通省の河川工事の土砂を使用する工事となっており、10 月以降の出水期後の工事になるため、準備期間も踏まえ、この発注時期になっています。また、昨年度も永山運動公園整備工事を受注していることから、現地の状況、地元の調整等の状況把握は出来ており、積極的に応札されたと推察しています。

委員 : 事前に予定価格が公表されているためか、入札率 100% で入札されている会社が多く、100% で入札されている会社は基本的に落札する気がないのだろうと思いますが、談合ではないかとの視点で見ることでもあります。発注課はどのように考えているのでしょうか。

市 : 入札率 100% 以上で入札すると当然失格になるため。最高 100% で応札されると思います。100% で応札された業者については委員が言われるように落札する気がなく応札をされたものと思います。

業者の都合でいくつもの工事を施工することが出来ないため、計画的に市の発注工事であれば年間で 1 件か 2 件、多くて 3 件という状況が毎年見受けられます。

えびの市は独自でのランク付けは行っていないため、えびの市発注の工事を多く受注してもランク付けに影響がないため多くの工事を受注するような積極的な状況は無いものと考えています。

委員 : 落札する気が無いのなら何故業者は辞退しないのでしょうか。辞退してもペナルティは無いはずですが。

市 : 辞退する場合は入札日の前日までに辞退届を提出することになっており、

入札に参加したい業者が1者だけになると入札が中止になってしまうため、出来る限り入札に参加してくださいと言うお願いはしているところです。

委員 : 国ではなるだけ多くの業者に受注してもらうため、手持ち工事が無い業者に対して優先して発注する考え方もあるのですが、市でそのような考え方は無いでしょうか。

市 : 今のところは、手持ち工事が無い業者に対して優先的に発注する考え方はありません。平等に応札いただく通常通りの入札を考えております。

市長へ報告する調査及び審議の結果、又は市長に対する意見等

委員 : 県の場合には、入札の予定価格を設定する担当の方が工事の内容、業務委託の設計を熟知されている案件とそうでない案件が見受けられる。
えびの市でも予定価格の精度を高めるために担当技士の人材育成が重要と考えますのでよろしくお願ひしたい。

市 : ご意見のありました、技師の人材育成については、市長に報告させていただきたいと思ひます。